

## 【10月の気象】

10月になると気温も下がって過ごしやすくなりますが、まだ台風の時期は終わっておらず油断はできません。平年値（1991～2020年の30年間平均）でみると、年間で約25個の台風が発生し、約12個の台風が日本から300km以内に接近し、約3個が日本に上陸しています。発生・接近・上陸ともに、8月、9月が多いのですが、10月になっても、台風の影響がなくなる状況ではありません。四国地方では、10月の台風接近数の平年値は約0.4個となっています。2年～3年に一度は愛媛県に接近しますので、台風情報に留意してください。

台風情報は積極的に入手し、早め早めの台風対策や避難行動をとってください。

[台風情報はこちら](#)

[https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.488/137/&elem=typhoon\\_all&typhoon=all&contents=typhoon](https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.488/137/&elem=typhoon_all&typhoon=all&contents=typhoon)

降ひょうによる被害は5月頃が多いのですが、過去には10月にも降ひょうによる農作物への被害が発生しています。1992年10月20日は、上空に強い寒気が流入したため、県内の山間部を中心にひょう（直径20ミリ前後）が降り、柑橘類、キウイフルーツ、ほうれん草、イチゴ、水稻などが被害を受けました。1997年10月14日も寒冷前線の通過に伴い、県内各地でひょう（直径10～30ミリ）やあられが降り、柑橘類、柿、キウイフルーツ等への被害が発生しています。

降ひょうのおそれがある場合は、雷注意報や気象情報の中で、注意を呼び掛けています。

[ひょうに関連のある情報はこちら](#) <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/hyou.html>

## 【気象用語】「推計気象分布」とは

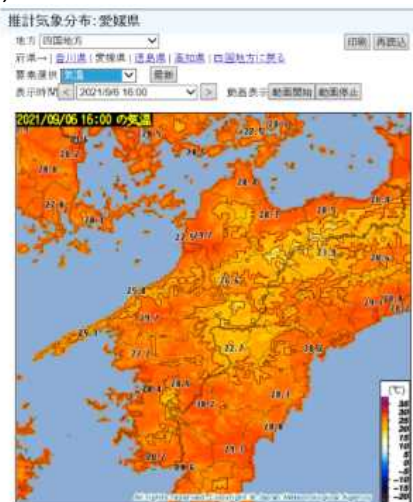
「推計気象分布」は、アメダスや気象衛星の観測データ等をもとに天気・気温・日照時間のきめ細かな分布を算出し、視覚的に把握できる情報です。こちらを利用することで、アメダスなどの観測所のない場所の状況も把握できます。

この情報は、面的には1km四方のメッシュの細かさで、天気は5種類（晴れ、くもり、雨、雨または雪、雪）、気温は0.5℃、毎および日照時間は0.2時間毎のそれぞれの単位で表します。また、1時間毎に更新します。

なお、観測所を含むメッシュの値は、そこでの観測データとは必ずしも一致しません。面的な広がりに着目してご利用ください。

[推計気象分布はこちら](#) <http://www.data.jma.go.jp/obd/bunpu/index.html?4032&temp>

（気温）



（天気）



気温と天気の切り替えは「要素選択」で行います。

気温分布の拡大図では、同時刻のアメダスの気温観測値を重ねて表示します。